

宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポートNo.25

石巻 出前寺子屋「検定合格講座」

◆活動報告その25[2012年7月22日]

午前8時14分に上野駅を出発する東北新幹線のやまびこ127号に乗る。私にとり27回目の石巻行きは、仙台まで一人旅である。谷村志厚塾長は夏期講習への対応と準備のため、松戸の自塾に居残りである。一人旅には大きすぎる荷物を引きながら、仙台駅を降り立った私(谷村和枝)を迎えてくれたのは東北大学の3人の学生諸君。前回も参加をしてくれた大学院修士課程1年の米澤さんと学部3年の小野さんに、今回初参加となる明朗快活な女性院生の永迫さんが加わって東北大学の指導スタッフが形成され、その若人集団と私は仙台駅前のバス停で合流をした。合流して間もなく、東北大学准教授の村山先生がご自宅から自転車で駆けつけてくれた。初参加者もいる学生たちを気遣い、更には出前寺子屋のプロジェクト全体をも目配りしてくださる村山先生に見送られ、東北大学3人と私の一行は高速バスで石巻に向かった。

石巻でバスを降り、「東北大学の学食より安くて、はるかにうまい」と3人が口をそろえて言う「ミニカツ丼付ざるそばランチ」(500円)を駅前の大もり屋さんで食べ、我々はタクシーに乗り、開成仮設団地に向かった。開成団地内のいつもの会場、ささえあい拠点センターに着き、早速会場設営に取り掛かる。地元の佐久間先生にも参加をしていただき、手早く設営を済ませ、本日の段取りの打ち合わせをした。

午後1時30分、学習が始まった。英検講座の5級を私と米澤ペアが、そして、4級講座を小野・永迫ペアがそれぞれに担当して、授業が進められた。午後2時になると、佐久間先生をアドバイザーとして漢検講座も開始された。本日の寺子屋出席者は、英検講座12名、漢検講座12名で、合計24名の方々である。漢検学習は黙々と、英検学習はハキハキと学習が進められていった。

そして、2時30分には休憩を兼ねたセレモニーが始まった。本日は講座初の英検合格者、Hさんの準2級合格の表彰が行われ、高校生のHさんは会場の皆さんから大きな拍手を受けたのである。合格をあらかじめ知っていたHさんは、本日はすでに上級の英検2級の学習に取り掛かっていた。頼もしい限りである。この休憩時間に、7月よりJEDROの支援を受けて、今までは予算の都合でご遠慮いただいていたダブル受験、即ち、お一人の方が英検と漢検の両方を受講・受験されることが可能になった旨をお知らせした。会場にはうなづく方、何やら考えている顔をする方がいた。

2時50分に後半の学習が始まり、私は英検3級講座を米澤さんに一任し、お一人お一人に学習進度の聞き取りをしていった。個々の進度チェックが済むと、英検・漢検の両講座同時受講の申し込みが多数出てきたのである。しかも皆、「いいんでしょうか、本当に？」と遠慮がちに申し込まれたのである。こうして、英検・漢検のダブル受講者は6名となった。このうちの一人、今日初参加の中学3年生のSさんは当ささえあい拠点センターで、市の事務



漢検講座風景。準1級挑戦で復帰した卒業生の姿も。中央は佐久間先生。

石巻 出前寺子屋 「検定合格講座」の仕組み

活動期間：第Ⅰ期 2011年8月16日～2012年2月4日

第Ⅱ期 2012年2月19日～6月17日

第Ⅲ期 2012年6月16日～11月10日

①スクーリング(漢検・英検学習)

2011年8月16日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、12月11日、24日、2012年1月8日、22日、2月4日、19日、3月4日、18日、4月1日、15日、29日、5月13日、27日、6月2日、9日、17日、7月1日、22日、8月5日、26日、9月9日、23日(以上会場確定分)

②会場 仮設開成ささえあい拠点センター集会所

③検定受験(第Ⅲ期)

平成24年度第2回英語2012年10月13日

平成24年度第2回漢字2012年11月10日

④受講対象者 仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民

⑤受講者特典 教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料

を執っている女性がお母さんである。そのお母さんが「全部流されました」とSさんに代わって私に告げた。3・11後今日まで、来春には受験が控えているのに、辞書なしで英語も国語も勉強してきたようだ。前回(7/1)に続いて今日もまた、辞書すら持たぬ受講生を受け入れることとなった。復興への道のりの厳しさを見聞きして、今日も言葉が出ない。次回、Sさんに英和・和英辞典を持ってくる約束をした。

厳しい状況がまだ続く中、出前寺子屋に集う受講者の向学心は衰えを知らない。JEDROの支援の一端を活用し、漢検準1級のハイレベルの受講が可能となった。それをお知らせし、本日から受け付けを始めた。準1級漢検受講希望者が3名出た。このような変化を目にすると、被災をされた方々が学習領域で求めていることの内実が変化をしていると私は強く感じるのである。出前寺子屋もそれに即応し、進化しなければならないであろう。進化を促されている出前寺子屋の次回講座は8月5日に開催される。

(報告：谷村和枝)



初参加の永迫さんは千葉県出身。技量と器量の両面で期待できる。



栃木県出身の小野さんは、中学1.2年生に英検4級を楽しく指導。



岩手県出身の米澤さんは英検3級を担当。すでにベテランの雰囲気だ。

過去3回の漢字検定実績・58名受験中合格者52名
2級-13名、準2級-14名、3級-12名、4級-4名、5級-4名、
6級-3名、7級-2名 (小中学生16名、一般36名)

ご支援ありがとうございます

当活動は支援参加者個人の負担と、ご援助をいただいた皆さんの浄財で運営しております。2012年6月17日の活動からは、日本キリスト教協議会・震災対策室(JEDRO)から活動資金支援をいただいております。

主管:AIM学習セミナー(私塾ネット会員・松戸市)
後援:全日本私塾教育ネットワーク(略称・私塾ネット)
支援:日本キリスト教協議会・震災対策室(JEDRO)